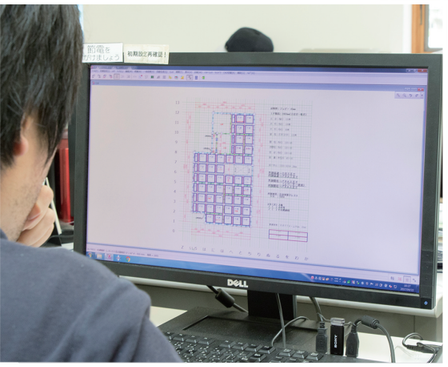
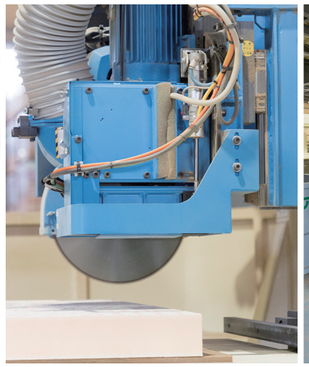
太田木材 株式会社

▶対 象 類 型　革新的サービス
▶事 業 類 型　一般型　設備投資
▶主たる目的　商品開発

既存プレカットノウハウを活用した
新たな省エネ業界基準に適合した新設備開発事業









1
2 3 4

1／木材加工機をベースに、大幅に仕様を変更。柔らかな断熱材を傷つけず、厚みも最大85mmまで加工できる。 2／まずはCADを使って、サイズや枚数などの情報を入力し、加工用のソフトを作製。 3／コンピュータ制御で切断する際の寸法の狂いがなく、製品としての性能も向上した。 4／出荷を待つ断熱材。使用場所も印字され、現場の作業がしやすくなっている。

断熱材のプレカットで木材供給にプラスαのサービス。

太田木材は、工務店や大工、ビルダー等への木材供給を事業の柱としている。近年は省エネ住宅が主流となり、木材と同時に断熱材の注文も増える中、顧客からは「断熱材もプレカットしてもらえないか」との要望が寄せられていた。

多くの住宅用木材は、寸法を合わせたプレカット状態で出荷される。断熱材も同様にカットされていれば、現場の作業は大幅に簡略化できる。しかし現状の木材用加工機械では、断熱材の厚さに対応できず、柔らかな素材を扱うことも難しかった。やむを得ず当初は社員が1枚ずつ寸法を測ってカットしたが、人件費など採算が合わず断念せざるを得なかった。

そこで同社は機械メーカーに、木材と断熱材共にカットできる加工機の開発を相談。木材加工から得た経験と、メーカーとの長年の信頼関係で、通常では難しい独自の仕様変更を実現させた。CADを使った精度の高い仕上がりで断熱材の性能も高まり、現場でのゴミの減少や騒音の軽減、運搬回数の減少によるCO_2の削減など多くの副産物をもたらした。さらに木材とプレカットの断熱材をセットで提供することで、同業他社との差別化を図ることができた。

注目すべき成果

実績と信頼関係で実現できた国内初の機械。

今回の加工機は大幅な仕様変更が必要で、メーカーはコストが合わないため手を付けていなかった。しかし、強い信頼関係と木材加工の経験、何より同社の熱意が、国内初のオリジナル加工機の開発を成功に導いた。

注目すべき成果

現場に配慮した細かな心配り。

断熱材プレカットは、木材を納める顧客へのサービス。現場での職人たちの作業簡略化のため、パネルに使用場所を明記してスムーズな作業を後押しする。ゴミの始末や、作業中の近所への配慮も考えた。

今後の展望

省エネ社会を見据えた体制。

省エネ住宅の基準は今後さらに厳しくなることが予想されるため、加工機は現在の最大の厚さ66mmの上をいく85mmまで対応できる設定になっている。次世代の規格変更にも、柔軟に対応できる体制が整った。

ものづくり専門員から一言

会社の姿勢を象徴する国内初の挑戦。

今回の加工機は、全国初の新設備。利益や手間を考えれば通常メーカーでは受けない仕様変更を、長年の信頼関係で実現させたのは見事。これにより、業界内での差別化が図れる有力なサービスを提供できることになり、本業である木材のシェア拡大に弾みがついた。

こんな会社です！

若者や女性が活躍できるエキサイティングな職場。

木材を主力商品に、住宅用木材や断熱材のプレカット事業、住宅設備や建材事業、北陸ならではの家づくりを実践する工務店支援などを行っています。木材供給では、県内だけでなく北陸、関西、東海地区へも進出を果たしています。当社はやる気と元気、負けん気があれば、年齢問わず活躍できる会社です。各部署の責任者は20～30代で、女性も多数働いています。年齢や役職、性別に関係なくお互いを名前で呼び合うなど、コミュニケーションを大切に、社員一丸となって製品をつくり上げています。



代表取締役
太田 貴司さん



平成12年に立ちあげたプレカット事業部では、顧客のさまざまな要望に対応。年間600棟の木材・資材を供給する。



本社

太田木材 株式会社

代表者／代表取締役 太田 貴司
設立／昭和62年（1987年）12月
（創業 大正元年4月）
資本金／1,000万円
従業員数／50人
事業内容／木材販売、プレカット加工、
省エネ・耐震商材の販売提案
売上高／13億円（平成29年1月実績）
〒910-1142 永平寺町松岡兼定島14-36-7
☎0776-61-6600　FAX.0776-61-6609
E-mail takashi6600@gmail.com